

学びのR

No. 39 (令和3年3月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

*** 「指導と評価の一体化」で授業改善⑫ *** ～ 「小・中学校 道徳科」編 「道徳的行為に関する体験的な学習」～

*今回は、「指導と評価の一体化」の視点から、「道徳的行為に関する体験的な学習」について紹介します。



道徳科における「道徳的行為に関する体験的な学習」とは、どんな学習ですか？

役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面を、実感を伴って理解することによって、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う学習です。



学習指導要領解説（特別の教科 道徳編）では、「道徳的諸価値を理解したり、自分との関わりで多面的、多角的に考えたりするためには、例えば、実際に挨拶や丁寧な言葉遣いなど具体的な道徳的行為を通して、礼儀のよさや作法の難しさを考えたり、相手に思いやりのある言葉を掛けたり、手助けをして親切についての考えを深めたりするような道徳的行為に関する体験的な学習」とあります。道徳的行為のよさや大切さについて、役割演技等を通して実感させることが大切です。

「道徳的行為に関する体験的な学習」を充実させるためのポイントはありますか？



ポイントは次の2点です。

- ① 道徳的価値に関わる問題場面が分かりやすい教材を使用し、どのように行動するかを問う発問を行います。
- ② 役割演技を取り入れた学習活動、役割演技を通して気付いた気持ちや考えを問う発問を取り入れます。



PICK UP! 役割演技を取り入れるポイントは？

埼玉県マスコット「コバトン」

役割演技を授業に適切に取り入れるためには次のような点に、注意が必要です。

- ・演技の上手、下手は問わない。
- ・小学校低学年では、やりたい気持ちが先行してしまう。ふざけないように注意が必要である。
- ・慣れていない段階では、児童生徒と先生で行うとよい。先生が適宜相手役の児童に質問しながら、考えを深めさせる。慣れてきたら、児童生徒同士の役割演技も、ねらいに応じて取り入れる。
- ・役割演技について、見ている児童生徒にもその様子を問うなど、工夫をする。



※では、実際に、授業はどのようにすればよいのでしょうか。裏面を御覧ください。



内容項目 [B 親切、思いやり]

教材名 「はしの上のおおかみ」(「わたしたちの道徳 小学校1・2年」 文部科学省) の例

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 「人からされて嫌なこと」について、話し合い、問題場面を浮き彫りにする役割演技を行う。	役割演技をやっている児童生徒だけでなく、 <u>それを見ている児童生徒に発言させることで、全体に広げます。【評価②】</u>	・ 経験したことを基に話し合い、その上で、 <u>生活場面における問題場面を役割演技することで、問題意識をもたせる。</u>
展	2 教材文を読みながら考える。 ・ うさぎやきつねを追い返しているおおかみを役割演技してみましょう。 ・ いつまでもくまの後ろ姿を見ていた時、おおかみは心の中で何を考えていたのでしょうか。	・ おおかみはいい気持ちでいる。 ・ 王様になった気分だ。 役割演技は児童がやるか、教師がやるか、 <u>ねらいや意図によって使い分けます。【評価①】</u>	・ おおかみの気持ち、 <u>それを見ている児童の気持ち</u> を考え、うさぎたちの気持ちを捉えさせ、より問題点を明確にする。 ・ 教師による役割演技を見て、親切にされたおおかみの気持ちを捉えさせ、親切のよさを考えたりさせる。 ☆ 役割演技を見ながら、 <u>多面的・多角的</u> に考えられているか。 ☆ 役割演技を通して、 <u>自分事として</u> 考えられているか
	・ うさぎを抱き上げ、後ろに降ろしてあげたおおかみはどんなことを考えているでしょう。 ・ 追い返している場面の「えへん、へん。」とうさぎを抱き上げ、後ろに降ろした場面の「えへん、へん」の違いを役割演技してみましょう。	動作化も取り入れてみましょう 動作化は登場人物の動作を同じようにやってみることで、児童生徒が一度に行うことができます。 役割演技を行うことで、 <u>その行為のよさを実感</u> させます。【評価①】	☆ 役割演技を通して、 <u>自分事として</u> 考えられているか ・ 「えへん、へん。」をペアで役割を交代しながら演技し、 <u>親切的な行動のよさを実感として捉えさせる。</u>
開	3 自己を見つめる。 ・ みなさんは、これまでどんな親切をしたことがありますか。	・ 困っていたら手伝ってあげたいな。	・ 「えへん、へん。」をペアで役割を交代しながら演技し、 <u>親切的な行動のよさを実感として捉えさせる。</u>
終末	4 教師の説話を聞く。	・ 来年度の1年生に親切にしてあげよう。	道徳科の評価はこの <u>2つの視点で評価</u> します。この評価を行うためには、 <u>2つの視点で指導</u> を行っていることが必要です。 <u>指導と評価が一体</u> となっている必要があります。

・ 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】【評価①】

- ・ 役割演技を通して、親切の気持ちよさや難しさについて考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】【評価②】

- ・ 親切について、役割演技を通して自分との関わりで考えている。

※下記の参考資料を参照してください。

引用 埼玉県小学校教育課程指導・評価資料 (R1. 3) から引用して作成
※引用した部分は、ページ数を示してあります。(例 p.○○)
参考 小学校学習指導要領解説(特別の教科 道徳編)(H30. 2)

